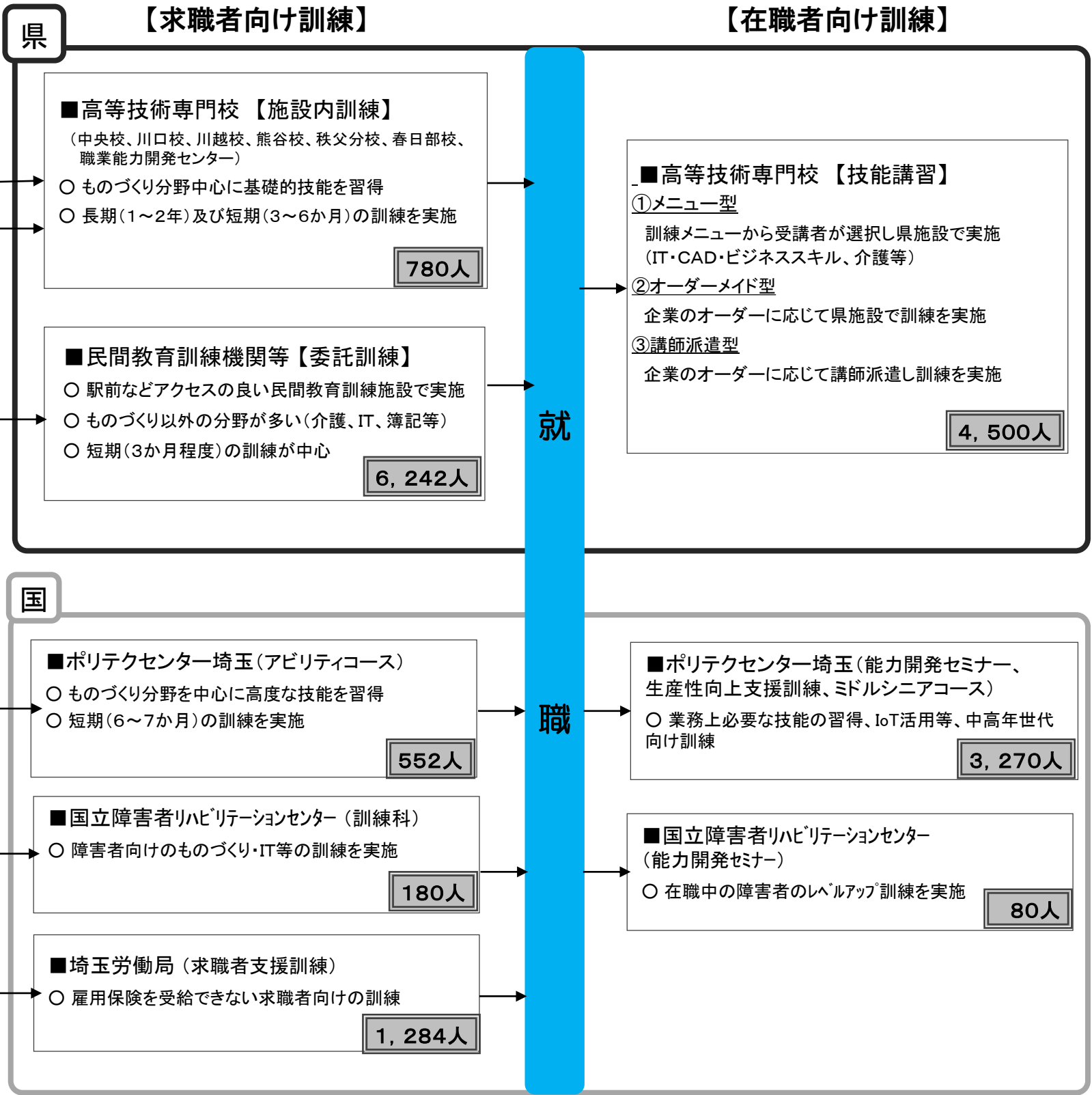


# 高等技術専門校の現状と課題

- ① 埼玉県における職業訓練の概要
- ② 職業訓練の根拠・要件等
- ③ 高等技術専門校の訓練科設置状況
- ④ 高等技術専門校の訓練科一覧
- ⑤ 高等技術専門校及び職業能力開発促進センター(国)の定員状況(他県比較)
- ⑥ 高等技術専門校の見直しの視点
- ⑦ 入校率の推移(校・訓練科別)
- ⑧ 求人倍率の推移(校・訓練科別)
- ⑨ 高等技術専門校の資産・ランニングコスト
- ⑩ 各高等技術専門校の建物等の修繕計画(令和4年度～18年度)
- ⑪ 訓練科の見直し(平成21年度以降)

# 埼玉県における職業訓練の概要

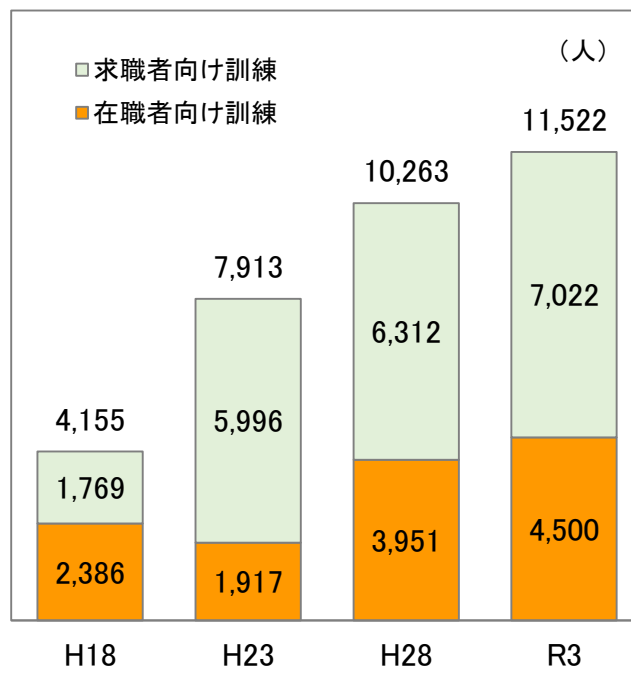
## 埼玉県内で実施される職業訓練（令和3年度計画）



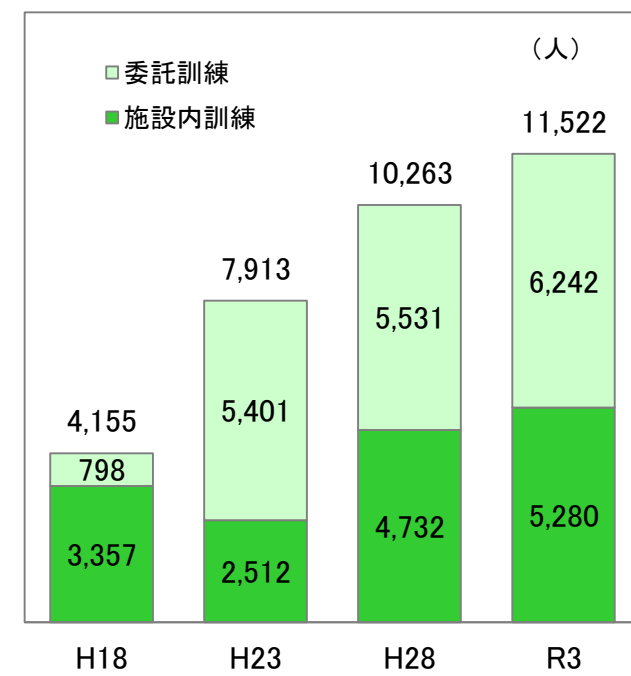
## 県が実施する職業訓練の推移

※H18, H23, H28は実績、R3は計画

### 【求職者・在職者別】



### 【委託・施設内別】



# 職業訓練の根拠・要件等

法 → 職業能力開発促進法  
 条例 → 埼玉県立高等技術専門学校条例  
 規則 → 埼玉県立高等技術専門学校規則

区分	高等技術専門学校		民間教育訓練機関
	訓練科	在職者訓練	委託訓練
1 実施根拠	<b>【国が定めていること】</b> ① 都道府県は職業訓練を実施する。(法15条の7) ② 都道府県は職業能力開発校を設置する。(法16条1項) ③ 普通職業訓練又は高度職業訓練を行う。(法19条1項) ④ 訓練の基準は省令で定める。(法19条3項)		<b>【国が定めていること】</b> ① 都道府県は職業訓練を実施する。(法15条の7) ② 毎年、民間教育訓練機関に委託して訓練を実施する。(国実施要領)
	<b>【本県が定めていること】</b> ① 職業訓練を実施。(条例3条) ② 職業能力開発校を6校1分校設置。(条例2,4条) ③ 普通職業訓練を実施。(条例5条) ④ 普通課程(1年,2年)、短期課程(6月,1年)の求職者訓練を実施。(条例5条、規則2条)	<b>【本県が定めていること】</b> ① 同左 ② 同左 ③ 同左 ④ 短期課程の在職者訓練を実施。(条例5条、規則2条)	
2 実施目的	労働者が段階的かつ体系的に職業に必要な技能・知識を習得する。(法15条の7)		求職者が再就職するため、多様な職業訓練の機会を提供する。(国実施要領)
3 実施主体	県 ※指定管理導入は可能。大阪で過去に導入事例あり。愛知は検討したが導入せず。 ※独立行政法人化は不可。		民間教育訓練機関 (国実施要領)
4 実施内容 訓練基準	<b>【国が定めていること】</b> ⑤ 普通職業訓練(普通課程・短期課程) (国省令・通達) ・訓練科目 普通課程・・・144科 短期課程・・・136科 ・期間、時間 普通課程・・・1年以上4年以内、年1,400時間 短期課程・・・6月以内・1年、12時間以上 ・訓練生数 普通課程・・・1科50人以下 短期課程・・・1科50人以下 ・指導員配置 普通課程・・・訓練生30人に指導員3人配置 短期課程・・・適切な数		<b>【国が定めていること】</b> ・期間、時間 長期・・・1年～2年、年1,400時間 短期・・・3月～1年、月50～100時間 (国実施要領)
	<b>【本県が定めていること】</b> ⑤ 普通課程、短期課程 (条例2条、規則2条、県定数条例) ・訓練科目 10科(機械制御、情報制御、自動車、建築、情報処理、空調、金属加工、電気工事、電気設備、木工芸) ・期間、時間 普通課程・・・1年・2年、年1,400時間 短期課程・・・6月・1年、12時間以上 ・訓練生数 普通課程・・・40～60人 短期課程・・・10～60人 ・指導員配置 75人	<b>【本県が定めていること】</b> ⑤ 短期課程 (条例2条、規則2条 県定数条例) ・在職者訓練(技能講習)を実施 ・訓練科目 別に定める ・期間、時間 2日以上4月以内 ・訓練生数 50人以下	
6 授業料 受講料	県が条例で定める。(条例12条) 普通課程・・・118,800円/年 短期課程・・・無料	県が条例、規則で定める。 35,600円以内(条例12条) 1時限あたり学科167円、実技375円(規則19条)	国が実施要領で定める。 無料
7 費用負担	国交付金(国1/2、県1/2)		国委託料(国10/10)
	国補助金(国1/2、県1/2) (訓練に必要な設備) ※建物改修工事は都市整備部の予算		

# 高等技術専門校の訓練科設置状況

## 1 職業訓練の概要

### 求職者訓練

高等学校等の新規学卒者・求職者を対象

### 直営訓練

高等技術専門校(6校1分校)で実施  
ものづくり系科目を中心に実習を主体とした訓練(6か月、1年、2年)

### 委託訓練

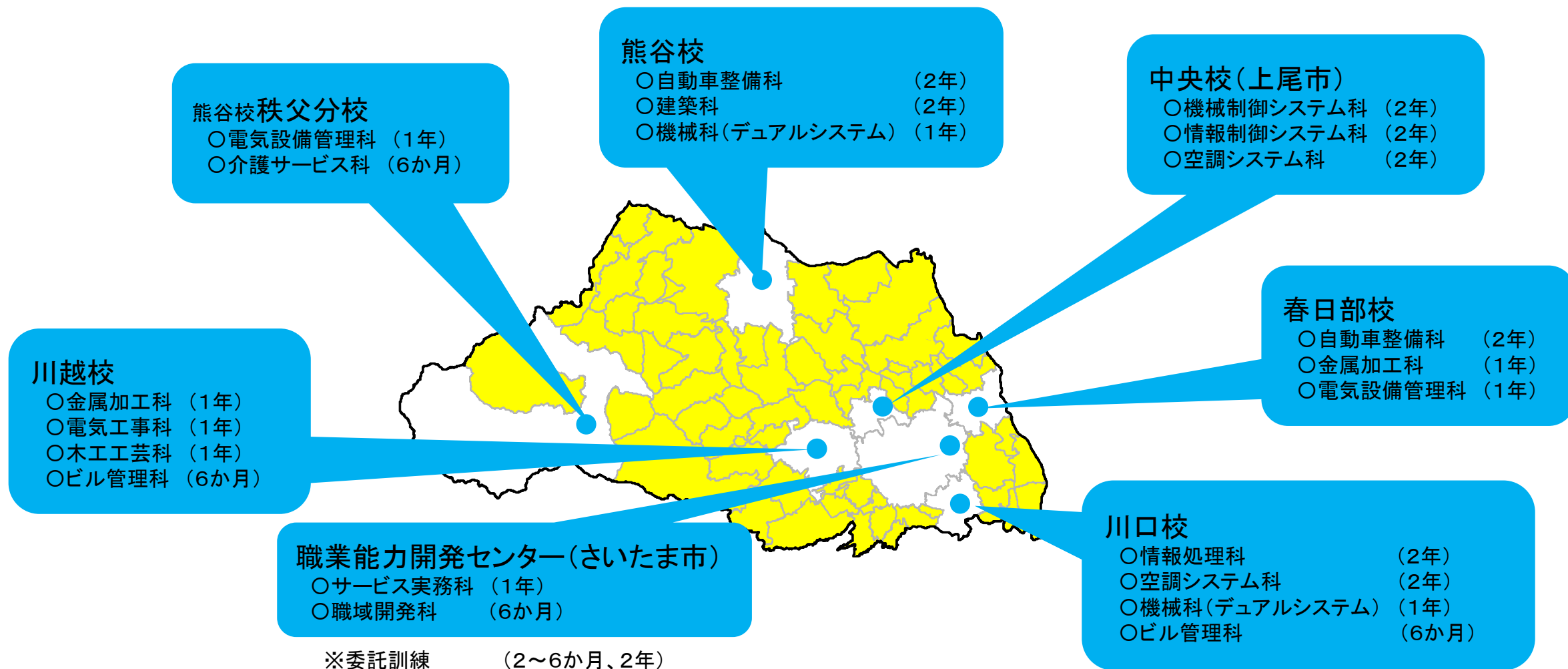
職業能力開発センターが民間の教育訓練機関に委託して実施  
ITや介護、事務等の幅広い分野を中心とした訓練(2~6か月、2年)

### 在職者訓練

企業の在職者を対象

高等技術専門校(6校1分校)で実施  
業務に必要な知識・技能の向上や資格取得を支援する訓練 (通称:スキルアップ講習)

## 2 設置状況(6校1分校)



# 高等技術専門校の訓練科一覧

施設数7校、訓練科15科（延べ21科）、定員780名

## 2年コース

【定員 205名 × 2学年 = 410名】  
※概ね30歳までの若年者

訓練科	主な習得技術	目指せる仕事	実施校(定員)
機械制御システム科	<ul style="list-style-type: none"> <li>切削加工</li> <li>NC加工プログラム</li> <li>CAD製図</li> <li>精密測定</li> <li>機械保全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車部品製造</li> <li>医療機器部品製造</li> <li>食品製造機器部品製造</li> <li>航空宇宙分野関連機器部品製造</li> </ul>	中央校(25人)
情報制御システム科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子回路の設計製作</li> <li>組込み系プログラミング</li> <li>コンピュータ制御システム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組込み系プログラマ</li> <li>コンピュータシステムの開発・設計</li> <li>デジタル家電の修理</li> <li>自動生産設備の設計・施工</li> </ul>	中央校(25人)
自動車整備科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車の車検整備</li> <li>故障診断整備</li> <li>ハイブリッド車・電気自動車に関する知識・技能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーディーラーでの自動車整備・販売</li> <li>カー用品販売・取付け</li> <li>自動車部品開発企業</li> <li>損害保険会社アジャスター</li> </ul>	熊谷校(25人) 春日部校(25人)
建築科	<ul style="list-style-type: none"> <li>大工道具の取扱い</li> <li>家屋の製図・施工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築大工</li> <li>施工管理</li> <li>建築系CADオペレータ</li> <li>室内装飾業</li> </ul>	熊谷校(20人)
空調システム科	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調設備施工・点検・整備</li> <li>CADによる設備設計製図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンの取付工事・点検・修理</li> <li>制御配線工事</li> <li>ビル設備管理</li> </ul>	中央校(25人) 川口校(30人)
情報処理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラミング</li> <li>システム設計</li> <li>ネットワーク技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータシステムプログラマ</li> <li>システムエンジニア</li> <li>ネットワーク系エンジニア</li> <li>インフラ系エンジニア</li> </ul>	川口校(30人)

## 1年コース

【定員 150名】  
※年齢不問

訓練科	主な習得技術	目指せる仕事	実施校(定員)
金属加工科	<ul style="list-style-type: none"> <li>板金組立</li> <li>溶接作業</li> <li>コンピュータシステムによる精密板金機器操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属製品製造 (医療機器、厨房機器、鉄骨建築物、建設用重機など)</li> </ul>	川越校(20人) 春日部校(20人)
電気工事科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事</li> <li>シーケンサの自動制御</li> <li>家庭用エネルギー監視システムの施工方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事</li> <li>設備保守管理 (一般住宅、ビルなど)</li> </ul>	川越校(30人)
電気設備管理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事</li> <li>空調設備</li> <li>消防設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気設備工事</li> <li>通信設備工事</li> <li>ビル管理</li> <li>設備管理</li> <li>電気系製造業</li> </ul>	秩父分校(20人) 春日部校(30人)
木工工芸科	<ul style="list-style-type: none"> <li>木工品の工作</li> <li>木工器具の取扱い</li> <li>木工機械の操作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家具・建具の木工品製造</li> <li>家具の修理・取付け</li> </ul>	川越校(30人)

## 短期コース

【定員 220名】  
※年齢不問(機械科のみ概ね55歳まで)

訓練科	主な習得技術	目指せる仕事	実施校(定員)
機械科 デュアルシステム (訓練+企業実習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械加工</li> <li>工作機械の操作</li> <li>図面の読み方、書き方、プログラミングの基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車、鉄道車両、船舶などの部品の加工製造業</li> </ul>	川口校(20人) 熊谷校(20人)
ビル管理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラー技士</li> <li>危険物取扱者</li> <li>電気工事士</li> <li>消防設備士</li> <li>冷凍機械責任者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビルの給排水衛生設備、空調設備、電気設備、消防設備等の運転管理、保守管理業務</li> </ul>	川口校(60人) 川越校(60人)
介護サービス科	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護福祉士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人介護施設、在宅介護、障害者施設、病院などの介護職</li> </ul>	秩父分校(40人)
サービス実務科 職域開発科 (障害者対象)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務補助、介護補助、パソコン操作、帳簿記帳、商品管理、清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務や介護の補助業務、清掃や店舗・倉庫のサービス業務、清掃や介護補助など軽作業</li> </ul>	職業能力開発センター(20人)

# 高等技術専門校及び職業能力開発促進センター（国）の定員状況

## （他県比較）

定員数 順位	都府県名	定員数 (国県合計)	国（ポリテクセンター）		都府県	
			定員【設置数】	国県割合	定員【校数】	国県割合
1	東京都	4,370	0【0】	0	4,370【12】	100.0
2	神奈川県	1,612	572【1】	35.5	1,040【2】	64.5
3	千葉県	1,327	818【3】	61.6	509【5】	38.4
4	愛知県	1,292	582【2】	45.0	710【4】	55.0
5	埼玉県	1,256	476【1】	37.9	780【7】	62.1
6	大阪府	1,234	524【2】	42.5	710【4】	57.5
7	静岡県	870	528【1】	60.7	342【3】	39.3

（参考）県立短期大学校設置→神奈川県（400名）、静岡県（320名）（上記には含まない）

# 高等技術専門校の見直しの視点

## (現状)

- 県内産業の求める人材の育成（学卒者、求職者）  
→製造業、建設業、介護、障害者、デジタル分野
- 経済的に余裕がない家庭の進学先や失業者のセーフティネットの役割  
→低額な授業料、受講料
- 民間教育機関との役割分担  
→委託訓練との整理

## (見直しの視点)

- デジタル人材育成機能の強化  
→高技専訓練科・委託訓練・在職者訓練におけるデジタル分野の拡大
- 民間教育機関との役割分担の再点検
- 運営方法の検討  
→委託、指定管理など

## 訓練科見直しの可能性

訓練科	産業界のニーズ	応募状況	就職率	民間の状況	評価・課題等	見直しの可能性
空調システム科 ビル管理科	高い	高い	・空調は高い ・ビル管理はやや低い	ない	ビル管理科の就職率向上	
機械科 機械制御システム科 金属加工科 自動車整備科	高い	・機械、金属加工は低い ・自動車は高い	高い	一部あり	機械、金属加工の人気がない	入校促進 定員の見直し カリキュラムの見直し
電気工事科 電気設備管理科	高い	・電気設備(秩父)は低い	高い	ない	電気設備(秩父)の人気がない	入校促進 訓練科・定員の見直し
情報処理科 情報制御システム科	高い	高い	高い	一部あり	デジタル人材育成の強化 民間との役割分担	定員の拡大 訓練科の見直し
建築科 木工芸科	高い	普通	高い	一部あり		
介護サービス科	高い	低い	高い	あり	人気がない	入校促進、定員見直し

# 入校率の推移(校・訓練科別)

●機械制御システム科(中央)、機械科(川口・熊谷)、金属加工科(川越、春日部)、電気設備管理科(秩父)で入校率が低い。

実施校	訓練科	コース	訓練期間	H29年度			H30年度			H31年度			R2年度			R3年度			H29～R3 平均 入校者数	H29～R3 平均 入校率
				募集定員	入校者数	入校率	募集定員	入校者数	入校率	募集定員	入校者数	入校率	募集定員	入校者数	入校率	募集定員	入校者数	入校率		
				(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)		
中央高等技術専門学校	機械制御システム科	二年	2年	25	26	104.0	25	21	84.0	25	15	60.0	25	15	60.0	25	19	76.0	19.2	76.8
	空調システム科	二年	2年	25	25	100.0	25	14	56.0	25	25	100.0	25	23	92.0	25	24	96.0	22.2	88.8
	情報制御システム科	二年	2年	25	26	104.0	25	24	96.0	25	24	96.0	25	25	100.0	25	25	100.0	24.8	99.2
合計				75	77	102.7	75	59	78.7	75	64	85.3	75	63	84.0	75	68	90.7	66.2	88.3
川口高等技術専門学校	情報処理科	二年	2年	30	30	100.0	30	29	96.7	30	30	100.0	30	30	100.0	30	29	96.7	29.6	98.7
	空調システム科	二年	2年	30	29	96.7	30	27	90.0	30	30	100.0	30	28	93.3	30	30	100.0	28.8	96.0
	機械科(デュアルシステム)	短期	1年	20	14	70.0	20	8	40.0	20	16	80.0	10	6	60.0	10	6	60.0	10.0	62.5
	ビル管理科	短期	6月	60	59	98.3	60	59	98.3	60	61	101.7	30	30	100.0	30	30	100.0	47.8	99.6
合計				140	132	94.3	140	123	87.9	140	137	97.9	100	94	94.0	100	95	95.0	116.2	93.7
川越高等技術専門学校	金属加工科	一年	1年	20	21	105.0	20	10	50.0	20	16	80.0	20	10	50.0	20	14	70.0	14.2	71.0
	電気工事科	一年	1年	30	27	90.0	30	30	100.0	30	29	96.7	30	30	100.0	30	26	86.7	28.4	94.7
	木工工芸科	一年	1年	30	30	100.0	30	29	96.7	30	30	100.0	30	31	103.3	30	30	100.0	30.0	100.0
	ビル管理科	短期	6月	60	61	101.7	60	59	98.3	60	59	98.3	60	59	98.3	30	30	100.0	53.6	99.3
合計				140	139	99.3	140	128	91.4	140	134	95.7	140	130	92.9	110	100	90.9	126.2	94.2
熊谷高等技術専門学校	自動車整備科	二年	2年	25	25	100.0	25	25	100.0	25	21	84.0	25	23	92.0	25	24	96.0	23.6	94.4
	建築科	二年	2年	20	21	105.0	20	20	100.0	20	21	105.0	20	14	70.0	20	15	75.0	18.2	91.0
	機械科(デュアルシステム)	短期	1年	20	17	85.0	20	18	90.0	20	20	100.0	10	5	50.0	—	—	—	15.0	85.7
合計				65	63	96.9	65	63	96.9	65	62	95.4	55	42	76.4	45	39	86.7	53.8	91.2
熊谷高等技術専門学校秩父分校	電気設備管理科	一年	1年	20	18	90.0	20	13	65.0	20	14	70.0	20	13	65.0	20	9	45.0	13.4	67.0
	介護サービス科	短期	6月	40	38	95.0	40	40	100.0	40	27	67.5	40	25	62.5	20	14	70.0	28.8	80.0
合計				60	56	93.3	60	53	88.3	60	41	68.3	60	38	63.3	40	23	57.5	42.2	75.4
春日部高等技術専門学校	自動車整備科	二年	2年	25	25	100.0	25	24	96.0	25	25	100.0	25	25	100.0	25	25	100.0	24.8	99.2
	金属加工科	一年	1年	20	18	90.0	20	13	65.0	20	11	55.0	20	8	40.0	20	9	45.0	11.8	59.0
	電気設備管理科	一年	1年	30	28	93.3	30	28	93.3	30	30	100.0	30	28	93.3	30	30	100.0	28.8	96.0
合計				75	71	94.7	75	65	86.7	75	66	88.0	75	61	81.3	75	64	85.3	65.4	87.2
職業能力開発センター	サービス実務科	短期	1年	10	6	60.0	10	8	80.0	10	11	110.0	10	10	100.0	10	8	80.0	8.6	86.0
	職域開発科	短期	6月	5	4	80.0	10	9	90.0	10	9	90.0	5	5	100.0	5	5	100.0	6.4	91.4
合計				15	10	66.7	20	17	85.0	20	20	100.0	15	15	100.0	15	13	86.7	15.0	88.2
合計	2年コース計			205	207	101.0	205	184	89.8	205	191	93.2	205	183	89.3	205	191	93.2	191.2	93.3
	1年コース計			150	142	94.7	150	123	82.0	150	130	86.7	150	120	80.0	150	118	78.7	126.6	84.4
	短期コース計			215	199	92.6	220	201	91.4	220	203	92.3	165	140	84.8	105	93	88.6	167.2	90.4
	合計			570	548	96.1	575	508	88.3	575	524	91.1	520	443	85.2	460	402	87.4	485.0	89.8



# 求人倍率の推移(校・訓練科別)

●直近6年間の平均求人倍率は5.4倍で極めて高い。(求人倍率＝求人数／定員数)

校	訓練科	定員	H27	H28	H29	H30	R1	R2	平均
中央	機械制御システム科	25	3.8	4.6	6.6	6.6	6.6	5.0	5.5
	空調システム科	25	5.6	6.0	10.2	8.8	9.5	9.8	8.3
	情報制御システム科	25	4.4	3.6	6.5	8.3	7.3	6.1	6.0
川口	情報処理科	30	2.2	2.3	1.8	2.2	3.8	2.7	2.5
	空調システム科	30	3.7	5.8	6.3	6.0	6.6	5.8	5.7
	機械科(デュアル)	10	2.9	-	1.4	7.5	4.1	3.7	3.9
	ビル管理科	30	2.7	4.1	2.8	4.8	3.1	2.3	3.4
川越	金属加工科	20	2.8	2.9	5.0	9.3	6.9	4.5	5.2
	電気工事科	30	7.2	12.7	12.8	16.9	13.9	12.2	12.6
	木工工芸科	30	1.9	2.7	2.3	2.8	2.9	2.0	2.4
	ビル管理科	30	3.1	4.1	3.8	5.2	8.1	5.0	4.9
熊谷	自動車整備科	25	1.6	3.4	3.5	9.9	4.2	4.5	4.5
	建築科	20	5.9	5.0	2.5	9.0	9.5	4.8	6.1
	機械科(デュアル)	10	2.0	5.7	4.9	8.1	11.6	1.1	5.5
秩父	電気設備管理科	20	2.5	2.4	4.8	3.7	3.9	8.0	4.2
	介護サービス科	20	2.4	3.2	3.3	4.1	2.7	6.8	3.6
春日部	自動車整備科	25	3.8	5.5	5.6	11.4	9.8	8.1	7.4
	金属加工科	20	3.6	2.9	3.9	6.6	4.2	2.3	3.9
	電気設備管理科	30	6.7	10.1	9.9	15.1	13.4	10.3	10.9
センター	サービス実務科	10	0.0	4.5	2.4	2.3	3.5	0.5	2.2
	職域開発科(H29.10開始)	5	-	-	1.0	1.2	0.7	0.6	0.9

合計	2年コース	205	3.8	4.5	5.4	7.6	7.0	5.8	5.7
	1年コース	150	4.3	6.2	6.8	9.6	8.0	6.8	7.0
	短期コース	220	2.5	3.9	3.2	5.1	5.2	3.6	3.9
	総合計	575	3.5	4.7	4.9	7.1	6.6	5.3	5.4

# 高等技術専門校の資産・ランニングコスト

## 1 敷地・建物

施設名	建物			敷地面積
	設置年 (築年数)	延床面積	概要	
中央	S55 (39年)	6,609㎡	管理棟、第1・第2・第3 実習棟、別館棟	23,036㎡
川口	H3 (27年)	5,427㎡	管理・実習棟	2,816㎡
川越	S61 (33年)	6,661㎡	管理・実習棟、実習棟	15,719㎡
熊谷	S39 (55年)	4,343㎡	管理棟、実習棟A・B、 実習場及び講堂	11,231㎡
(秩父分校)	H10 (21年)	3,923㎡	本館棟	4,504㎡ * 秩父市所有
春日部	S58 (36年)	6,523㎡	管理棟・第2実習棟、 第1実習棟	14,140㎡
職能センター	H5 (26年)	4,802㎡	本館	2,499㎡

## 2 備品

(単位: 千円)

施設名	購入総額	主な高額備品
中央	593,243	立型5軸マシニングセンタ 32,844千円(機械) ターニングセンタ 26,030千円(機械)
川口	444,745	マシニングセンタ 31,574千円(機械) 蒸気ボイラー 18,514千円(空調)
川越	441,841	NCタレットパンチプレス 38,632千円(金属) プレスブレーキ 24,300千円(金属)
熊谷	470,344	マシニングセンタ 32,529千円(機械) 数値制御旋盤 24,665千円(機械)
(秩父分校)	73,510	パソコンシステム 6,351千円(電気)
春日部	336,819	NCプレスブレーキ 21,708千円(金属) 動力シャー 12,490千円(金属)
職能センター	71,008	入浴装置 11,176千円(介護)
計	2,431,510	

## 3 人的資産

R3.4.1現在 (人)

施設名	指導員				事務				会計年度		合計		(参考) 在校 定数
	定数	現員	常勤	再任用	定数	現員	常勤	再任用	定数	現員	定数	現員	
中央	16	13	12	1	2	2	1	1	4	4	22	19	150
川口	12	10	9	1	3	3	3		3	3	18	16	170
川越	12	10	9	1	3	3	2	1	3	3	18	16	110
熊谷	10	9	8	1	3	3	3		3	3	16	15	110
(秩父分校)	5	5	5		1	1	1		2	2	8	8	40
春日部	9	8	8		3	3	2	1	3	3	15	14	100
職能センター	8	7	5	2	11	12	8	4	37	37	56	56	15
計	72	62	56	6	26	27	20	7	55	55	153	144	695

## 4 ランニングコスト

(単位: 千円)

区分	R1年度決算額	R2年度決算額	R3年度予算額	R4年度見込み
<b>歳出</b>				
人件費	1,003,425	979,914	1,002,217	1,064,867
施設管理費	35,209	35,626	277,418	23,128
うち委託料	14,154	13,048	3,439	3,439
事業費(備品等、訓練費)	1,387,282	1,413,127	2,035,303	2,085,586
うち委託料(委託訓練)	1,039,480	1,043,311	1,496,445	1,496,445
その他(経常費)	57,258	41,714	49,373	49,373
計	2,483,174	2,470,381	3,364,311	3,222,954
<b>歳入</b>				
使用料・手数料(授業料等)	61,027	58,944	66,989	66,989
財産収入(自販機等)	4,758	4,218	4,154	4,154
その他(国庫等)	1,692,995	1,687,810	2,530,625	2,316,984
一般財源	724,394	719,409	762,543	834,827
計	2,483,174	2,470,381	3,364,311	3,222,954

## 各高等技術専門校の建物等の修繕計画(令和4年度～18年度)

(単位:千円)

	R4～8		R9～13		R14～18		合計
中央校	296,472	屋上防水 外壁工事等	65,853		154,618	屋上防水 外壁工事等	516,943
川口校	183,312	LED化 トイレ洋式化 給排水管更新	22,256		368,590	屋上防水 外壁工事等	574,158
川越校	452,795	屋上防水 外壁工事等	5,160		58,733		516,688
熊谷校	98,226		30,922		76,746		205,894
秩父分校	223,206	屋上防水 外壁工事等	39,206		56,939		320,051
春日部校	165,187	屋上防水 外壁工事等	157,404	空調設備 全更新等	56,070		378,661
センター	196,041	エレベータ更新 トイレ改修 給排水管	13,315		336,807	屋上防水 外壁工事等	546,163
合計	1,615,239		334,816		1,108,503		3,058,558

※ 管財課策定の長期保全計画より抜粋

## 訓練科の見直し（平成21年度以降）

年 度	訓練科数(定員)	訓練科の見直し
平成21年度	25 (1,050人)	6校1分校に再編 1科新設【電気設備管理科(春日部)】 1科廃止【建築設備科(春日部)】
平成22年度	25 (1,060人)	1科新設・廃止【介護ヘルパー(秩父分校)1年限り】 1科廃止【OA実践科(センター)】
平成23年度 (第9次計画)	23 (960人)	4科廃止【OA経理科(センター)、造園科・木造建築科(熊谷)、金属加工技術科(川越)】
平成24年度	22 (900人)	3科新設【建築科(熊谷)、金属加工科(川越)、サービス実務科(センター)】
平成25年度	22 (920人)	
平成26年度	22 (895人)	1科見直し【電気工事科→電気設備管理科(秩父分校)】 1科廃止【建築デザイン科(中央)】
平成27年度	21 (870人)	
平成28年度 (第10次計画)	21 (870人)	1科廃止【介護サービス科(センター)】
平成29年度	21 (775人)	1科新設【職域開発科(センター)】
平成30年度	21 (780人)	
令和元年度	21 (780人)	
令和2年度	21 (780人)	
令和3年度 (第11次計画)	21 (780人)	